学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　物理						
副教材等	スタディーノート物理						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物理」は、実験を通じて自然の素顔(本質)のうちの物理的現象の部分(物理法則)と出会う科目です。法則を知るとどんなことが起こるか予測でき、予測通りの現象がおこると、面白くなります。

面白くなるには、自分で「よく聞く･よく読む･よく考える」ことが大切です。

① 授業の話をよく聞きよく考えてプリントに記入しよう。

② 授業中、わからない時、疑問に思った時、積極的に質問しよう。

③ 授業を受けるだけでなく、毎日復習することが大切です。問題集等宿題を出すので、必ず、自分で教科書をよく読み、自宅学習しよう。

考査は、問題をよく読み、何を問われているかよく考えて答えを書き、時間のある限り「自分が書きたいことを書けているか」を見直すことが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物理現象についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理学の基本概念や原理・法則を理解し知識を身につけている。	身の回りの物理現象について、実験等を通して科学的に考察し、結論を導き出し的確に表現している。	身の回りの物理現象について、興味・関心をもち、仲間と協力して実験・探究する姿勢を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	光　さまざまな運動	光の性質 1 屈折　レンズ 2 回折　干渉 さまざまな運動 1 剛体のつりあい 2 運動量の力積 3 円運動と単振動 4 万有引力 5 気体分子の運動	a: 光や剛体、円運動の現象についての基本的な知識が身についている。 b: 実験のデータ処理ができ結論が言える。ミクロな見方ができる。光の進み方の作図、剛体のつりあいの式、保存則が書ける。レンズ･つりあい･保存則の問題が解ける。 c:実験に主体的に取り組むことができる。	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験
二学期	電気と磁気	1 電界と電位 2 コンデンサー 3 電流 4 電流がつくる磁場 5 電磁力 6 電磁誘導 7 交流と電磁波	a: コンデンサー･オームの法則、電流と磁場の定性的問題が解ける。 b:場の概念を持って電磁現象を考える。3 次元的に考える。 メーターが使える。位置と電位･電界のグラフ、電流と電圧の関係のグラフが描ける。 c:静電気･電流と磁場の実験に、自主的に取り組むことができる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験
三学期	原子・分子の世界	1 電子と光 2 原子・原子核	a: 放射線測定器を使える。 b:線スペクトルから原子内の電子の状態を考える。 c:ミクロな世界に興味を持って取り組むことができる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度